



(写真) マリア・コリナ・マチャド VV 党首 “行政監督庁 マチャド党首に15年の出馬禁止措置”

2023年6月30日(金曜)

政治

- 「[行政監督庁 マチャド党首は15年出馬禁止](#)
～米・OAS・コロンビア マドゥロ政権批判～」
- 「[マチャド党首 現時点では抗議行動呼びかけず](#)」
- 「[主要野党 短めに今回の対応を批判](#)」
- 「[バイデン政権 ロドリゲス議長と水面下で協議](#)」

経済

- 「[英国 マドゥロ政権のGOLD 裁量権異議を棄却](#)」
- 「[自動車売買プラットフォーム CarValue](#)」

社会

- 「[働きやすい企業ランキング2023公開](#)」

2023年7月1-2日(土・日)

政治

- 「[米国 クリベル・アルカラ氏の個人制裁を解除](#)
～テロ計画罪の罪で引き続き拘留～」
- 「[タチラ州 コロンビア領事館が活動再開](#)」
- 「[チリ 在ベネズエラ・チリ代表大使を任命](#)」

経済

- 「[イベリア航空 ベネ西間を週5に増便](#)」
- 「[23年半期 インフレ100%、レート60%](#)」

社会

- 「[Socoadventures ベネズエラの自然映像が注目](#)」
- 「[軍部 アマゾナス州鉞区住民へ自主避難を推奨](#)」

2023年6月30日（金曜）

政治

「行政監督庁 マチャド党首は15年出馬禁止
～米・OAS・コロンビア マドゥロ政権批判～」

6月30日 与党国会内で野党議員として活動するホセ・ブリト議員は、急進野党「Vente Venezuela」のマリア・コリナ・マチャド党首は15年の出馬禁止状態になっていると発表した。

この決定は、出馬可否を決定する組織「行政監督庁」による決定である。

先だって、ブリト議員は予備選挙に出馬したマチャド党首について行政監督庁に訴えを起こしていた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.927](#)」）。

訴えの理由は、「マチャド党首が公職選挙に出馬できない可能性があるにも関わらず、予備選挙に出馬している」からだという。

マチャド党首は、2015年に行政監督庁から1年間の選挙出馬禁止措置を受けた。

つまり、2016年に出馬禁止措置は経過しているが、最終的に出馬を可能にするためには行政監督庁が出馬禁止措置の解除を発表する必要がある。

この「行政監督庁がマチャド党首の出馬禁止措置の解除を発表していない」という問題について、ブリト議員は、マチャド党首が現在公職選挙に出馬できるのかどうかをはっきり説明するよう求めたことになる。

そして、ブリト議員が行政監督庁から受けた回答は「マチャド党首は資産申告詐称の疑いがあり、この捜査が現在も完了していないので出馬禁止措置が継続しており、制度上15年間の出馬禁止措置になっている」というものだった。

マチャド党首が出馬禁止措置を受けたのは2015年なので、現在の状態が続けば「2030年までマチャド党首は公職選挙に出馬できない」ということになる。

マチャド党首は、予備選挙に出馬した候補の中で最も当選する可能性の高い候補であり、今回の出馬禁止の発表は今後のベネズエラ政治に極めて大きな影響を及ぼすだろう。

もちろん今回の発表を受けて、マドゥロ政権を批判する反応が国内外から出ている。

米国政府の Matthew Miller 報道官は「本日の決定は、ベネズエラ国民の基本的な政治参加権を侵害するものである」「米国政府は現在の状況を懸念している」「ベネズエラ国民は2024年の大統領選に参加する候補を介入なく選ぶ権利がある」との見解を示した。

「米州機構（OAS）」も声明を発表。

「今回の決定は、恣意的なものであり、国民の権利を侵害するものである。」「OAS 事務局長は、今回の決定に異論を呈しており、2024年にベネズエラで自由で公平で透明な選挙が実施される事を求める。」と苦言を呈した。

また、マドゥロ政権の友好国となったコロンビアのペトロ大統領も「どのような公権力も政治へ参加する権利を奪うべきではない」との見解を表明。マドゥロ政権を批判した。

「マチャド党首 現時点では抗議行動呼びかけず」

現在のところ、マチャド党首自身は、出馬禁止の決定を受けて、特に大きな動きは起こしていない。

ソーシャルメディアでは

「今回の意味のない出馬禁止措置は、政権が敗北したことを証明しただけである。現在のところ、これまで以上の力で、抵抗力を示し、予備選で投票しよう。国民は投票する力を持っている。最後までと言ったら最後まで。」

と投稿。

その後は、国内外の友好関係を持つ人々の連帯の言葉をリツイートするなど終始しており、抗議行動を呼びかける様子はなく、著しい治安悪化は起きていない。

マチャド党首は、「予備選挙に勝利してから何らかの対応を取る」という方針のように見えるが、出馬禁止が発表されてから2日しか経過しておらず、様子を見る必要があるようだ。



Ahora votaremos con más fuerza, más rebeldía y más ganas en las Primarias.

Aquí quién HABILITA es el pueblo de Venezuela.

Hasta el final es HASTA EL FINAL!



(写真) マリア・コリナ・マチャド VV 党首

「主要野党 短めに今回の対応を批判」

主要野党が中心となって構成される「統一プラットフォーム」は、マチャド党首の出馬禁止措置についてソーシャルメディアでコメントを投稿。

「民主的な統一プラットフォームは、マリア・コリナ・マチャド氏に対する憲法違反の出馬禁止措置を団結して拒絶する。今回の決定はベネズエラ国民の政治権の明確な侵害である。

この侵害行為を受けて、統一プラットフォームはベネズエラ国民とともに10月22日の予備選を通じて国民の団結を図ることを強く約束する。」との見解を示した。



また、予備選挙ではマチャド党首のライバルとなる他の候補者も個別に今回の出馬禁止措置を批判している。

マチャド党首と同じく15年間の出馬禁止措置を受けているエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事も

「今回の対応は憲法違反であり、根拠がなく、恥ずべき行為だ。マドゥロとその政権による新たな非民主的な対応を明確に拒絶する。」との見解を示した。

今のところ主要野党は、今回の決定に大きくリアクションする様子はないように見える。

「バイデン政権 ロドリゲス議長と水面下で協議」

スペイン系メディア「El Pais」によると、3週間ほど前にカタールのドーハにて、与党国会のホルヘ・ロドリゲス国会議長とバイデン政権のベネズエラ担当官が極秘で協議を行っていたという。

なお、この協議は第三国の仲裁は入らなかったという。

バイデン政権が派遣した交渉者は、国家安全保障委員会のファン・ゴンサレス担当官。両者は外交的な連絡ルートの構築とベネズエラでの政治正常化、政治犯の解放について協議したという。

6月21日 米国政府で人質問題を担当しているロジャー・カーステンス氏がベネズエラを訪問していた。つまり、カーステンス氏がベネズエラを訪問する前に、ロドリゲス国会議長とゴンサレス担当官が協議を行っていたと言うことになる。

また、「El Pais」によると、マドゥロ政権と米国政府の協議を行う場所としてカタールが今後も使用される可能性が高いという。

経 済**「英国 マドゥロ政権の GOLD 裁量権異議を棄却」**

6月30日 英国裁判所は、マドゥロ政権側のベネズエラ中央銀行による申し入れを棄却した。

2022年7月29日 英国裁判所は、英国銀行に保管されているベネズエラ中央銀行の GOLD について、「グアイド暫定政権に裁量権がある」との判決を下していた。

しかし、23年1月にグアイド暫定政権は解散。暫定政権が存在しなくなったことで、暫定政権が任命したベネズエラ中央銀行も法的な根拠がなくなった。

この状況を受けて、23年5月23日 ベネズエラ中央銀行は、22年7月に英国裁判所が下した決定に異議申し立てを実施。

しかし、英国裁判所はこの申し入れを棄却。英国銀行に保管されている GOLD について、マドゥロ政権側の中央銀行に裁量権はないとの判断を維持した。

ただし、5月の時点でベネズエラ中央銀行のカリスト・オルテガ総裁は「仮に今回の要請が棄却された場合、中央銀行は新たな法的措置を講じる」と説明しており、国際的な裁判組織に提訴するなど別の手段を講じることになりそうだ。

「自動車売買プラットフォーム CarValue」

6月28日 マドゥロ政権が主催した起業家支援イベントにて、「CarValue」というプラットフォームが紹介された。

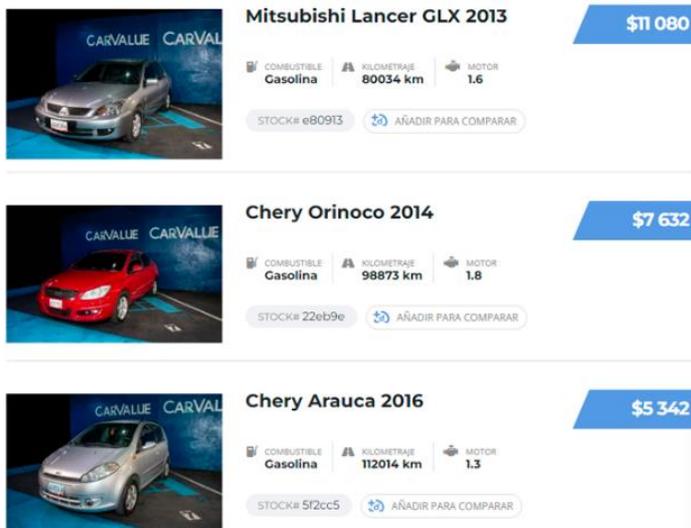
「CarValue」の開発者である Alberto Vicentelli 氏によると、同プラットフォームは自動車の売買を仲介するものだという。

Vicentelli 氏は、「CarValue」を利用することで「自動車の売買が迅速で安全で信頼できる手段で可能になる」と説明。「自動車売買のスタンダードを作りたい」との意欲を示した。

同プラットフォームは、自動車の適正価格を評価するアルゴリズムを備えており、その評価額を元に自動車を同社が購入し、整備した後に販売されるという。

なお、同プラットフォームを通じて販売される自動車は全て3ヶ月、4000キロの保証が付いているという。

同プラットフォームでは様々なタイプの車が販売されているが、金額は1台5000ドル～14000ドル程度だという。



(写真) CarValue

社 会

「働きやすい企業ランキング2023公開」

世界98カ国で企業のランク付けを行っている「Great Place to Work®」は、2023年の「ベネズエラの働きやすい企業ランキング」を発表した。

同ランキングに参加した企業は30社。

ランキングは「信頼性」「尊重」「平等」「仲間意識」「誇り」「社会的な評価」などを加味して作られる。

また、ランキングは「従業員数150名以上の部」、「従業員150名以下の部」に分かれており、それぞれの部で上位9社が発表された。

両部門の上位9位までに選ばれた合計18社の平均値は以下の通り。

■男女比：男性48%、女性52%

■年 齢：

25歳以下	14%
26～34歳	26%
35～44歳	30%
45～54歳	22%
55歳以上	8%

■勤続年数

2年より少ない	38%
2～5年	27%
6～10年	14%
11～15年	10%
16～20年	5%
21年以上	6%

従業員150名以下の企業ランキングは以下の通り。

1. [Chevere Salud, C.A](#) (医療保険)
2. [ZETTA](#) (技術サービス)
3. ALIMENTOS INTERNACIONALES (食品総合卸)
4. Medisolutions, C.A (医療資材輸入販売)
5. SOUTEC-VE (企業コンサルタント)
6. [DHL GLOBAL FORWARDING](#) (輸送)
7. EUROCIENCIA, C.A (医療資材販売)
8. Robin Agency, C.A. (日用品販売)
9. C.A. Reaseguradora Internacional de Venezuela (保険会社)

従業員150名以上の会社のランキングについては、追って「ウィークリーレポート」にて紹介したい。

2023年7月1日～2日(土曜・日曜)

政治

「米国 クリベル・アルカラ氏の個人制裁を解除
～テロ計画罪の罪で引き続き拘留～」

Joshua Goodman 記者は、自身のソーシャルメディアアカウントにて、「米国検察庁が、クリベル・アルカラ・コルドネス氏に科していた個人制裁を解除した」と投稿した。

クリベル・アルカラ氏は元ベネズエラ軍人。故チャベス政権下では、与党に忠実な軍人として活動していたが、マドゥロ政権に交代した後に反旗を翻し、政府を倒壊するための計画を主導した人物。

2020年5月に起きたマドゥロ政権倒壊作戦「Gedeon オペレーション」の指揮者で、最初はグアイド暫定政権と協力していたが、支払い問題などを理由に関係が悪化。

どのような背景があったのか全容は明らかになっていないものの、20年3月に米国政府は「Gedeon オペレーション」が実行に移される前にアルカラ氏を「麻薬取引のリーダー」との理由から指名手配にし、アルカラ氏は投降する形でコロンビア警察に捕まり、米国に連行された。

なお、アルカラ氏は逮捕されたが、「Gedeon オペレーション」自体は20年5月に実行され、失敗に終わっている。

米国検察庁は、アルカラ氏に科していた「麻薬取引犯」を理由とした個人制裁は解除したものの、外国でのテロ計画罪で拘束されたまま。現在のところ懲役刑は求刑されていないようだが、釈放される予定はない。

実際のところ、本件は政治的な理由での逮捕である。

様々な事実を元に考えると、米国政府が「Gedeon オペレーション」の存在を認識し、間接的に関与していた可能性は高い。

前述の背景からアルカラ氏は、米国政府にとって暴露されると非常にやっかいな事実を知っていると推測される。それ故に司法取引が完了するまでアルカラ氏が解放されることはないだろう。

「タチラ州 コロンビア領事館が活動再開」

コロンビアとベネズエラの国境都市タチラ州のサン・アントニオ・デ・タチラのコロンビア領事館が4年ぶりに再開した。7月3日(月曜)から領事業務を再開することになる。

領事は Alejandro Mahé Matamoros 氏。

Matamoros 領事によると、タチラ州は停電が頻繁に起きるため、同領事館は発電機を設置し、サービスを止めないようにしているという。



(写真) La Patilla

サン・アントニオ・デ・タチラのコロンビア領事館”

「チリ 在ベネズエラ・チリ大使を任命」

7月1日 チリ外務省は、Jaime Gazmuri氏(下写真の男性)を在ベネズエラ・チリ代表大使に任命すると発表した。

チリ外務省は「外交官の任命はベネズエラとチリの関係接近のサインである」と補足。マドゥロ政権との関係改善に向けて動き出す意思を示した。

この発表の前日の6月30日に、マチャド党首の出馬禁止措置が発表されていた。

世界的にマドゥロ政権を批判する流れがある中で、チリは淡々とマドゥロ政権との関係修復に動くという意味表明かもしれない。

Gazmuri 新大使は、20年間チリで議員を務めていたようだ。また、2度目のバチエレ政権時代(2014年～18年)に在ブラジル・チリ大使を務めたこともある。

また、19年には「Televisión Nacional de Chile」のダイレクターを務めたことがあるようだ。

 **Cancillería Venezuela** @CancilleriaVE · Jul 2
 #EsNoticia | Llegó a Venezuela Jaime Gazmuri, nuevo embajador de Chile en el país, designado por el presidente @GabrielBoric
mppre.gob.ve/2023/07/01/le...
 #ParlamentarismoDeCalle



(写真) ベネズエラ外務省

経 済

「イベリア航空 ベネー西間を週5に増便」

スペインのイベリア航空は、カラカス～マドリッド間の路線を週2便から週5便(火曜・水曜・木曜・土曜・日曜)に増やすと発表した。

週5便になるのは9月2日から。

9月2日～10月28日までのスケジュールは、カラカス発17時5分、マドリッド着は翌日7時50分
 マドリッド発11時55分、カラカス着は15時10分

10月29日～24年3月29日

カラカス発18時15分、マドリッド着翌日7時55分
 マドリッド発11時55分、カラカス着は16時20分



Aumentamos frecuencias entre Caracas y Madrid

Nos complace anunciarte que a partir del 2 de septiembre de 2023, añadimos dos frecuencias semanales entre Caracas y Madrid, incrementando en 5 las frecuencias semanales entre ambas capitales.

A continuación compartimos los detalles de la operación con las nuevas frecuencias incorporadas:

Del 2 de septiembre al 28 de octubre de 2023

Ruta	Vuelo	Días	Salida	Llegada
CCS-MAD	IB6674	M,X,J,S,D	17:05	07:50+1
MAD-CCS	IB6673	M,X,J,S,D	11:55	15:10

Del 29 de octubre al 29 de marzo de 2024

Ruta	Vuelo	Días	Salida	Llegada
CCS-MAD	IB6674	L,M,X,V,D	18:15	07:55+1
MAD-CCS	IB6673	L,M,X,V,D	11:55	16:20

(写真) イベリア航空

「23年半期 インフレ100%、レート60%」

経済学者でメトロポリタン大学のルイス・オリベロス教授は、2023年1月～6月のマクロ経済について分析。

同期間のインフレ率は100%で、為替レートは60%ポリバル安になったとした。

また「この6ヶ月ベネズエラは経済成長を出来なかった」と指摘。「現在の状況を打開するために抜本的な方針の転換が必要」との見解を示した。

世論調査会社「Datanalisis」のビセンテ・レオン社長は、「23年第2四半期に入り、物価上昇が緩やかになった」と指摘。「Chevron がベネズエラ経済にドルを供給したことで、ポリバル安に歯止めがかかり、インフレが抑えられた」とした。

レオン社長は、2023年の経済成長について、「下方修正の方向で検討する必要がある」としながらも、現時点では2.5%のプラス成長を予見しているとした。

社会

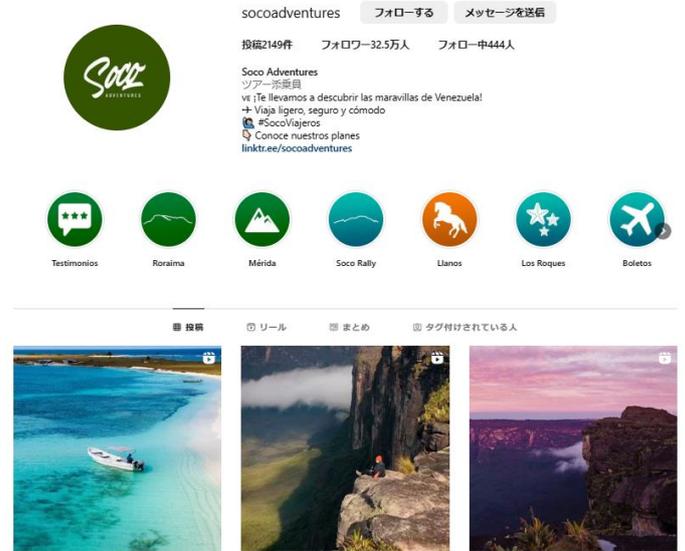
「SocoAdventures ベネズエラの自然映像が注目」

ベネズエラの観光ツアーを運営する「Soco Adventures」のインスタグラムが世界的に注目を集めているようだ。

同インスタグラムではベネズエラの自然や景色の映像を投稿しており、その美しさが評判となり多くの人に視聴されている。

最近更新された「Esto es Venezuela (This is Venezuela)」では、ベネズエラの様々な州の自然をまとめており、一見の価値がある。

インスタグラムのアカウントを持っている方は一度「socoAdventures」で検索されることをお勧めしたい。



(写真) socioAdventures Instagram

「軍部 アマゾナス州鉱区住民へ自主避難を推奨」

ベネズエラ国軍は、アマゾナス州の鉱山地域に住む労働者らに自主的な避難を推奨した。

6日19日、マドゥロ大統領は、鉱山地域で活動する違法採掘業者の取締を強化するよう軍部に命令（「[ベネズエラ・トゥデイ No.924](#)」）。これを受けて、軍部が鉱山地域での取締を始めている。

ドミンゴ・エルナンデス・ラレス国軍総司令官は、「国軍は違法採掘業者を摘発するための大規模な作戦を開始する。同地域の市民が巻き添えにならないよう、対象地域の住民に対して自主的な避難を推奨する」と発表した。

以上